

たわわ



地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2006年7月31日

68号

NPO法人「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

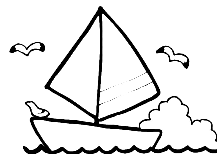
活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

きめ細かく暖かな活動を

障害者の地域生活を支える



不順な天候ではありますが、時に照りつける太陽が夏の訪れを感じさせます。重度障害者にとっては、厳しい季節です。

NPO法人『地域で生きる障害者を支える会』の18年度第1回の総会がもたれました。

これからも地域で生活している重度障害者の人たちをきめ細かく支えていく、暖かな会でありたいと思います。そして、いろいろな人が、それぞれのライフスタイルに合わせ、参加できる場所で力を合わせていけるように...。みんなの活動として共有できるように、この通信がお役に立てばとおもいます。

いま、自立支援法の制定と共に障害者を取り巻く世界は、激動期にあります。障害者の生活といっても、在宅かグループホームか、施設入所か、そのおかれている状況によって少しずつ違います。ただ、どこで生活するにしても、その人に合わせ、生き生きと生活できなければなりません。制度に足りないところがあれば、横浜市に働きかけていかねばなりません。困るところがあれば、その声をしっかりと届けることが必要です。そのとき地域の人たちがどう理解してくれているのかは、とても大切なことだとおもいます。

重い障害を持ちつつ地域で生活している人たちがいることを、多くの市民に理解してもらえるよう、私たちも手助けをしていきたいとおもいます。

☆ NPO法人「地域で生きる障害者を支える会」の主な活動は ☆

◇重度重複障害者が共に暮すグループホームの支援

(運営支援、職員やスタッフの人材の募集と育成、障害者の環境整備など運営費支援)

◇地域で暮す重度障害者の生活支援 (レスパイト支援、余暇活動支援、など)

◇啓発事業 (たわわ通信の発行・地域への回覧、写真展などによる地域の方への情報の発信、地域交流イベント事業の企画・共催)

◇学習会 (講演会、毎月のミニ学習会、見学会など)

NPO法人地域で生きる障害者を支える会総会 開催される

・地域で生きる障害者を支える会

- 1 平成17年度および18年度（18年4月1日～6月8日）活動報告について 承認
- 2 平成17年度および18年度収支決算報告について 承認
- 3 会計監査について 承認
- 4 会の解散について 承認

・特定非営利活動法人 地域で生きる障害者を支える会

- 1 NPO設立までの経過報告
「たわわ」でも3回報告（NPOの管轄は県になる）
障害者地域活動ホームを立ち上げた親達の活動から現在までのあゆみ
- 2 平成18年度（18年6月9日～19年3月31日）事業計画について 承認
- 3 平成18年度予算案について 承認
最初の事業として、重度障害者や支援者との生活を紹介する写真展を開催した。
*6月12日～17日「ギャラリーかれん」にて
- 4 定款の承認について 承認
2月の設立総会で承認されているが、若干字句の変更があったため。
- 5 役員について 承認
次年度までに増員の方向で検討中

・フリー討論

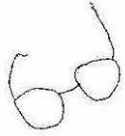
役員には職員も入っているほうが、いろいろな面で進めやすいのではないかと。
会員は会費・賛助会費等の金銭的な面だけでなく、活動の上でも出来るところで参加し
総会にも出席してほしい。
地域との交流は必要。
支える会をもっと広げていく。
若い人をどう育てていくかが、重要課題である。

ご入会，ご継続 ありがとうございます [敬称略]

《賛助会員》

松永 重年 石井 正夫 菅井とし子 福島 網子 渡辺 隆利
渡辺アツ子 渡辺 洋一 渡辺 英一 渡辺 未帆

(18年7月30日現在)



めがねの声

今年は つゆがなかなか明けません 夏になってしまいました。

もう8月になるのかと 驚いています。

この前 母と 町のバリアフリーを考える会に参加しました。

港北区や社会福祉協議会の地域福祉計画についてのお話しでした。港北区でのいろいろな地域でのようすを聞きました。

私は 会議に出て「お手伝いをして欲しい人と お手伝いしたい人を どうやってつなげるか」と言うのが 一番大切なことだと思いました。

* * *

会議は たまたま会場が取れなかったのか 港北公会堂の2階でありました。

2階に行くのには 階段を上がるしかなくて 母は事務所の職員に 一緒に車イスを手伝って欲しいとたのみました。 職員は年配の人で ハイハイという感じではなく ちょっと困ったいやそうな 顔をしていましたが 手伝ってくれました。

今 横浜高島屋の 地下の入り口は 短い階段がありますが 折りたたみの 車イスのリフトがあります。韓国の美術館にも 古い階段に 新しい折りたたみのリフトがつけられていて とても親切でした。

港北公会堂でもつけられると思います。 今までも ときどき 私たちは使っていますが ずっとそのままです。

帰りは、母がおぶって 参加者の人が車イスを 持ってくださいました。区役所の職員の方も手伝ってくださいましたが、「リフトを付けてくださいね」と言って みんなで大笑いになりました。

階段しかないのは 知っていましたが でも使っていかなければ 直らないので出かけました。いろいろな方に 迷惑を掛けたりするのが いつも とても 心苦しいのですが これからも頑張って どこへでも行こうと思います。

大原 友子

今月のよつばホーム

よつばホーム

ようやく梅雨も明けていよいよ暑い夏がやってきますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。入居者のみんなも夏バテしないように、しっかり体調を整えていきたいと思います。

さて、よつばホームでは小規模ながらも家庭菜園をしています。種類は、ミニトマト、とうがらし、ピーマン、かぼちゃ、ヤーコンです。

かぼちゃとヤーコンは今ひとつでしたが、他の野菜はしっかりと育ってくれました♪

収穫担当は主に勢津子さんが担ってくれています。朝、部屋からチェックして「トマトが真っ赤になっているよ～」と職員に教えてくれ、早速ハサミを持って外に収穫に行きます。収穫したミニトマトとピーマンは朝食のサラダやスープになり、とうがらしはヘルパーさんに調理していただき、『唐辛子味噌』となってごはんのおともに。



味のほうはといたしますと、ミニトマトは甘くておいしいとまずまずの評判です。ピーマンもおいしく出来て、しかも形良く育ってくれました。夏休みには入居者みんなで楽しく収穫したいと思います♪

第2よつばホーム

今月は外食の様子をお伝えいたします。入居者の誰かがデイサービスでのショートステイ（活動ホームでの泊まり）や実家に帰る人で、入居者の人数が少ないとき等スタッフの車を使って近所のファミレスまで出掛けることがあります。

これまで出掛けた事のあるファミレスは、新吉田町や新羽、綱島付近、たまには港北ニュータウンまで足を延ばすこともあります。

和食、洋食、中華 何が食べたいか… その日の気分で決まります。

外食時の持ち物で忘れてはいけないのが【キッチンバサミ】です。入居者の中には上手に食べ物を噛み砕けない人もいるので、はじめにある程度刻んでおく必要があるのです。

夕方、入居者が帰宅し、いつもなら順番に入浴ですが、外食の日は後回し。17時過ぎ余裕を持って出発です。みんな外食は好きなようでニコニコです。メニューを見ているだけでも楽しい気分になってきます。人が食べている物っておいしそうに見えてきませんか？ すこしずつ交換したり…。ドリンクバーがある所も多いので、何種類か飲んだりと楽しく過ごしています。夏休みにもまた外食できたらと考えています。

* * * TAWAWA 8月はおやすみします * * *